



水流の枯渇していた永田川にはポンプ

を使って上流から水を引くとともに、子供たちが水遊びを楽しめるように人工の滝や堰をつくるなど、親水性に配慮した。

また、市の保存樹であるアカギの根元を保護するため周囲をミニ庭園にしており、ベンチや外柵には地場産木材を使用している。整備後は、ホタルの川にしようとの動きもあり、近くの小学校にホタルの孵化小屋もつくられた。

赤木並木とせせらぎ通り

- ①鹿児島県名瀬市永田町
- ②延長：約270m，幅員3～12m
- ③水路，滝，ベンチ，ガード柵ほか
- ④サンゴ石，植栽ほか



●人々が集い憩う水辺づくり